

亀岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書（概要版）

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、「第2期亀岡市子ども・子育て支援事業計画（平成32～36年度）」の策定に向けて、子育て家庭の生活状況や市の施策に対するご意見・ご要望についてお聞かせいただくことを目的として実施したものです。

2. 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。

調査の種類	調査の対象（母集団）	調査期間	実施方法
就学前児童アンケート	市内の就学前児童 （0～5歳）の保護者	平成31年 1月15日～1月31日	郵送による 配布・回収
小学生アンケート	市内の就学児童 （小学1～6年生）の保護者	平成31年 1月15日～1月31日	

※調査基準日：平成30年12月1日

3. 配布と回収状況

調査票の配布と回収の状況は次のとおりです。

		配布数	回収数	回収率
就学前児童アンケート	今回	1,000 票	434 票 (うち白票 6)	43.4%
	【参考】 前回	1,500 票	829 票	55.3%
小学生アンケート	今回	1,000 票	457 票 (うち白票 10)	45.7%
	【参考】 前回	1,500 票	836 票	55.7%

4. 調査結果の見方

- ◇ 設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- ◇ タイトルの横には、質問形態を記載しています。

SA＝単数回答：「1つに○」「主なもの1つに○印」など選択肢を1つ選ぶ質問形態
MA＝複数回答：「あてはまるものすべてに○」など2つ以上の選択を選ぶ質問形態
FA＝文字記述回答
NA＝数量回答：日数や時間、回数などの数値・数量を記入してもらう質問形態

- ◇ 各グラフの“n”は、当該設問に回答すべき方（回答対象者）の人数を示しています。
- ◇ 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- ◇ グラフ・表には、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- ◇ 集計は、小数点以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ◇ 各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。

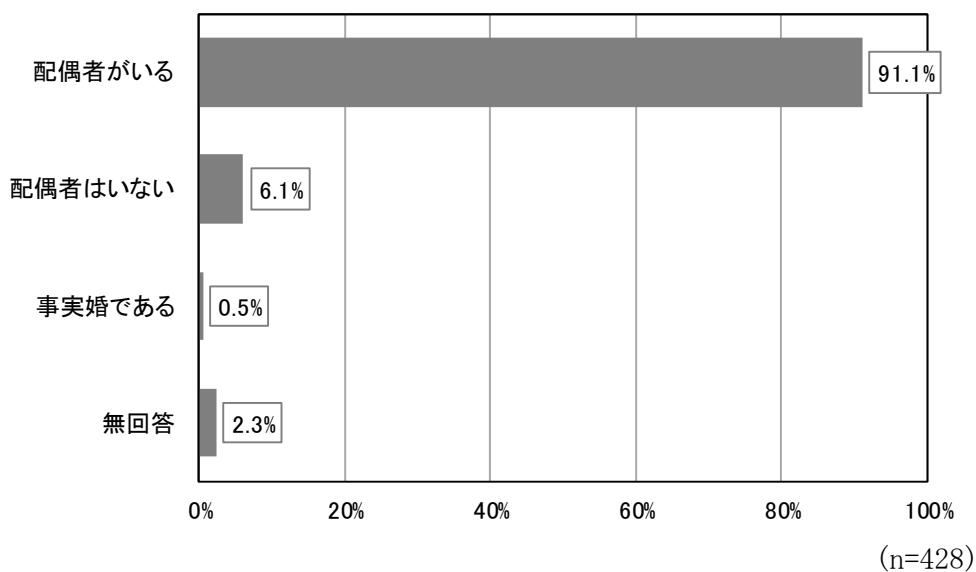
II 調査結果概要

1. お子さんと家族の状況について

配偶関係（SA）

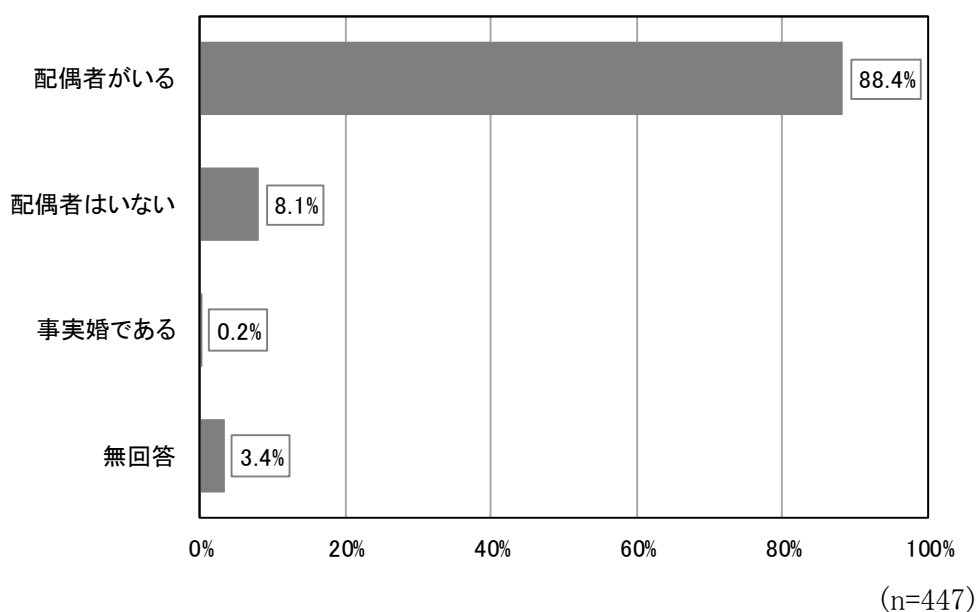
【就学前（問5）】

○「配偶者がいる」が91.1%で最も割合が高く、「配偶者はいない」（＝ひとり親世帯）は6.1%となっています。



【小学生（問5）】

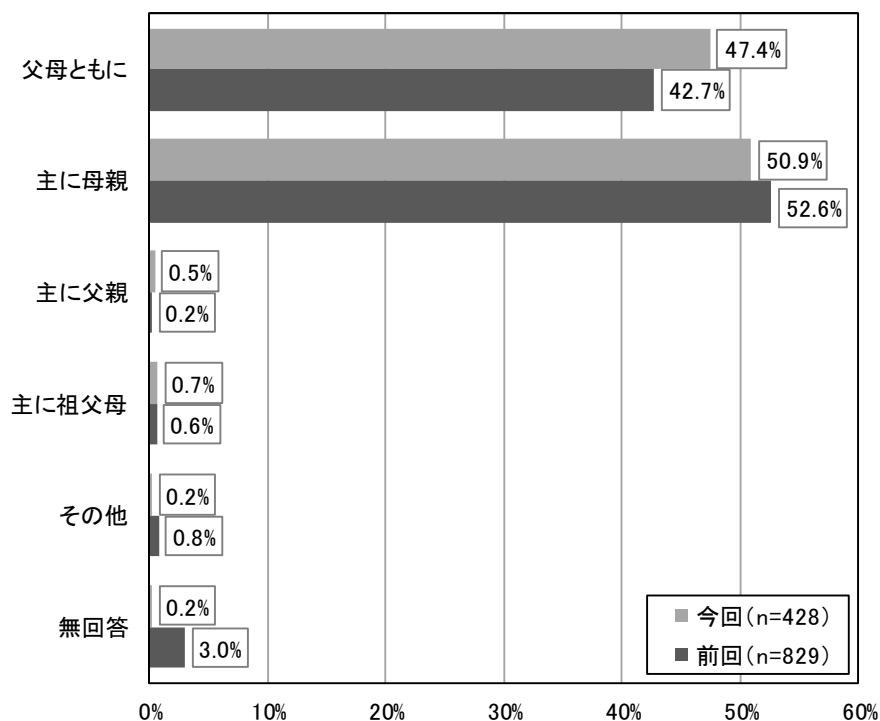
○「配偶者がいる」が88.4%で最も割合が高く、「配偶者はいない」（＝ひとり親世帯）は8.1%となっています。



子育てを主に行っている方（SA）

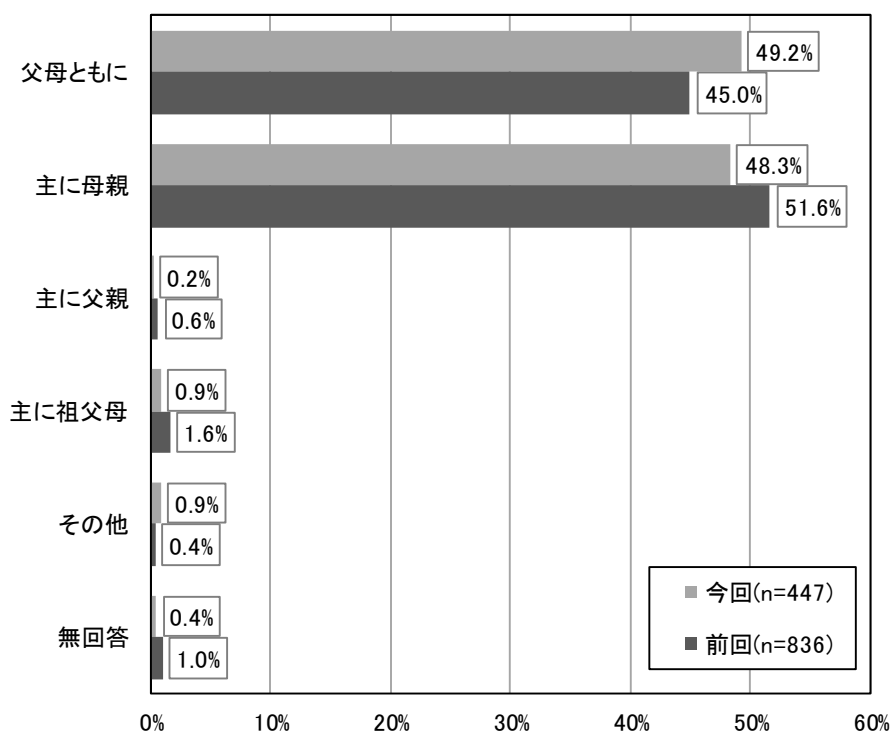
【就学前（問6）】

- ・「主に母親」が50.9%で最も割合が高く、次いで「父母ともに」が47.4%となっています。
- ・前回と比較すると、「父母ともに」が4.7ポイント増加しています



【小学生（問9）】

- ・「父母ともに」が49.2%で最も割合が高く、次いで「主に母親」が48.3%となっています。
- ・前回と比較すると、「父母ともに」が4.2ポイント増加しています

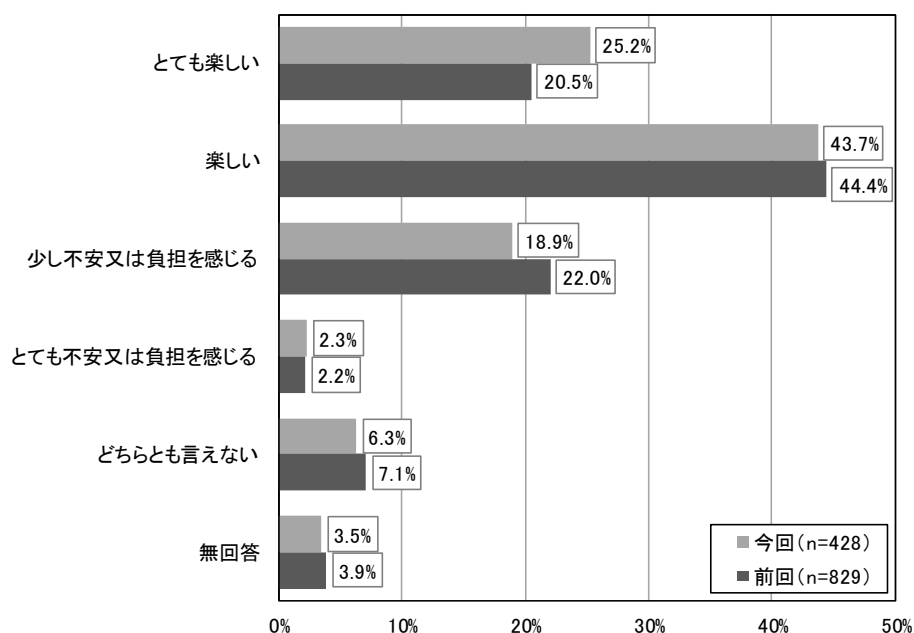


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

子育ての感想（SA）

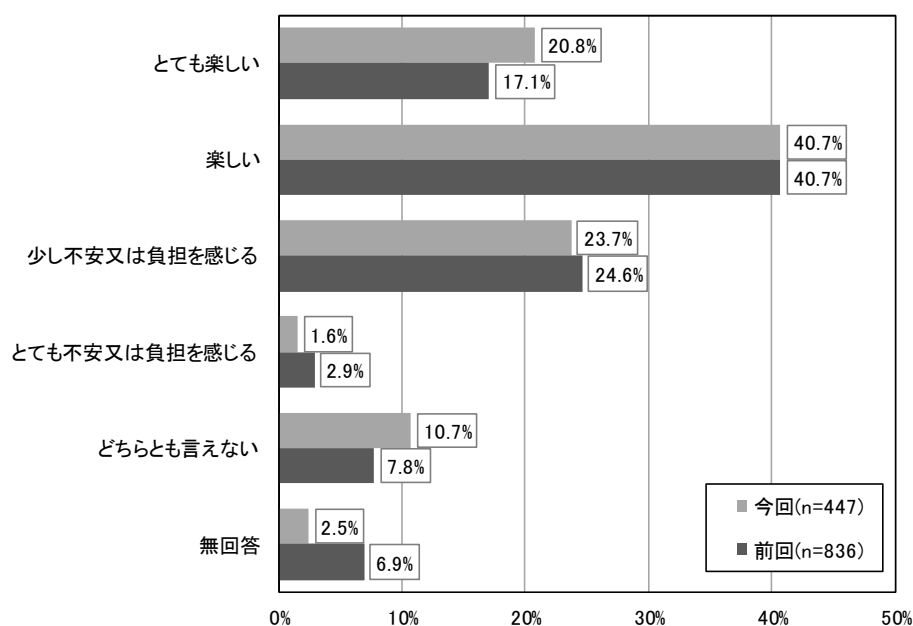
【就学前（問8）】

- ・「とても楽しい」「楽しい」を合わせた“楽しい”は68.9%、「少し不安又は負担を感じる」「とても不安又は負担を感じる」を合わせた“不安・負担を感じる”は21.2%となっています。
- ・前回の調査と比較すると、“楽しい”が4ポイント増加しています。



【小学生（問12）】

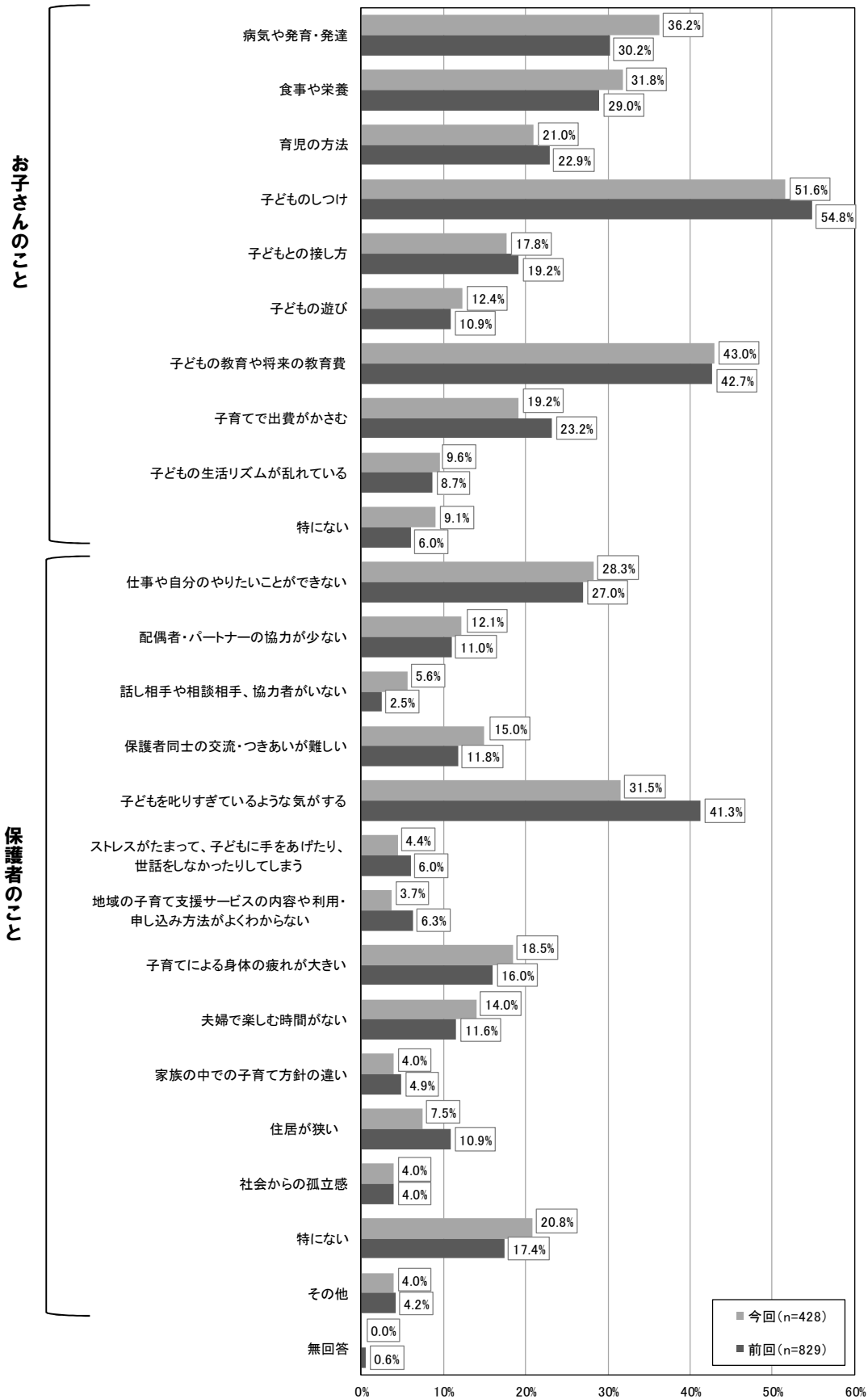
- ・「とても楽しい」「楽しい」を合わせた“楽しい”は61.5%、「少し不安又は負担を感じる」「とても不安又は負担を感じる」を合わせた“不安・負担を感じる”は25.3%となっています。
- ・前回の調査と比較すると、“楽しい”が3.7ポイント増加しています。



子育ての悩みや不安（MA）

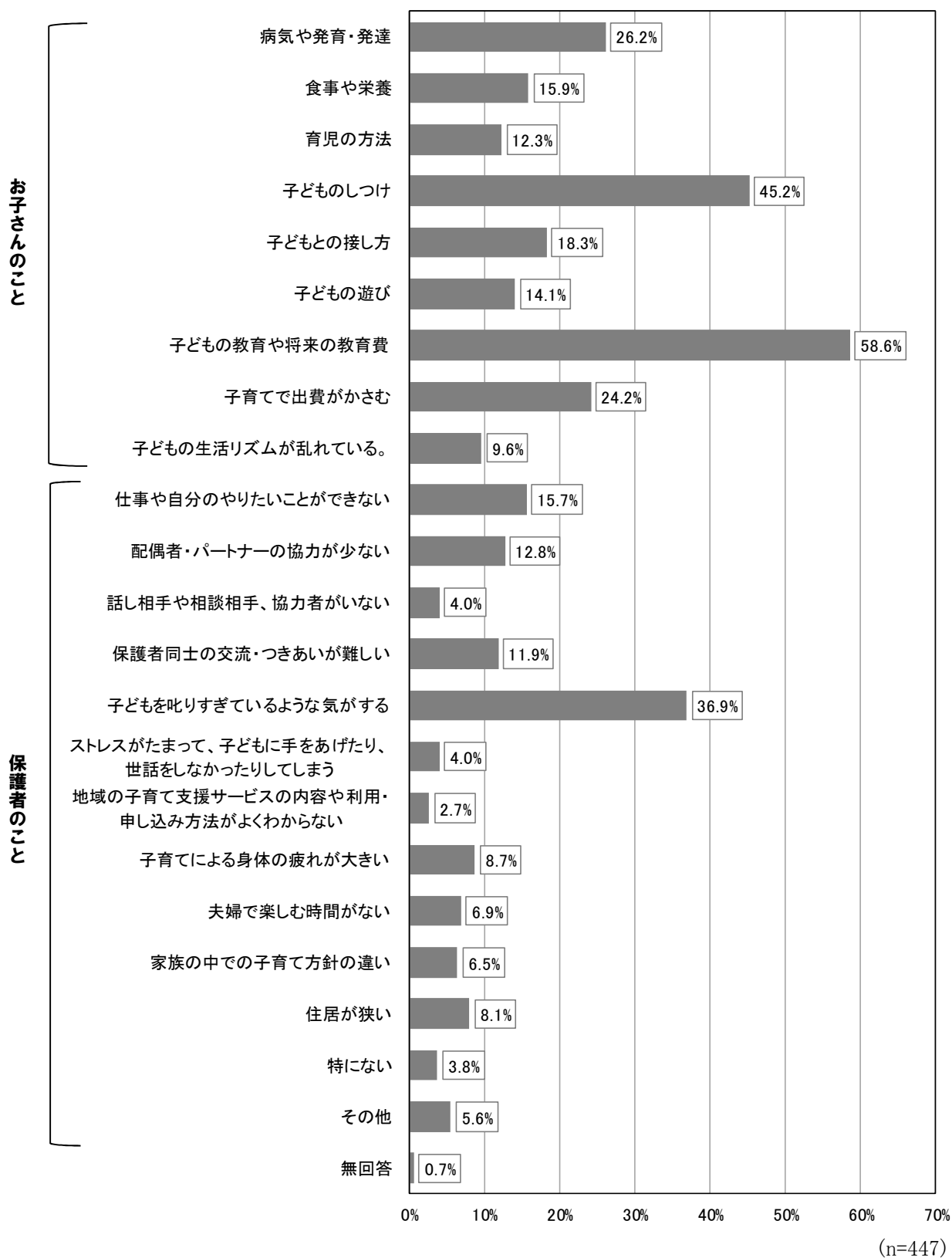
【就学前（問9）】

- ・「子どものしつけ」が 51.6%で最も割合が高く、次いで「子どもの教育や将来の教育費」が 43.0%となっています。
- ・前回の調査と比較すると、「病気や発育・発達」が6ポイント増加しています。



【小学生（問 13）】

・「子どもの教育や将来の教育費」が 58.6%で最も割合が高く、次いで「子どものしつけ」が 45.2%となっています。

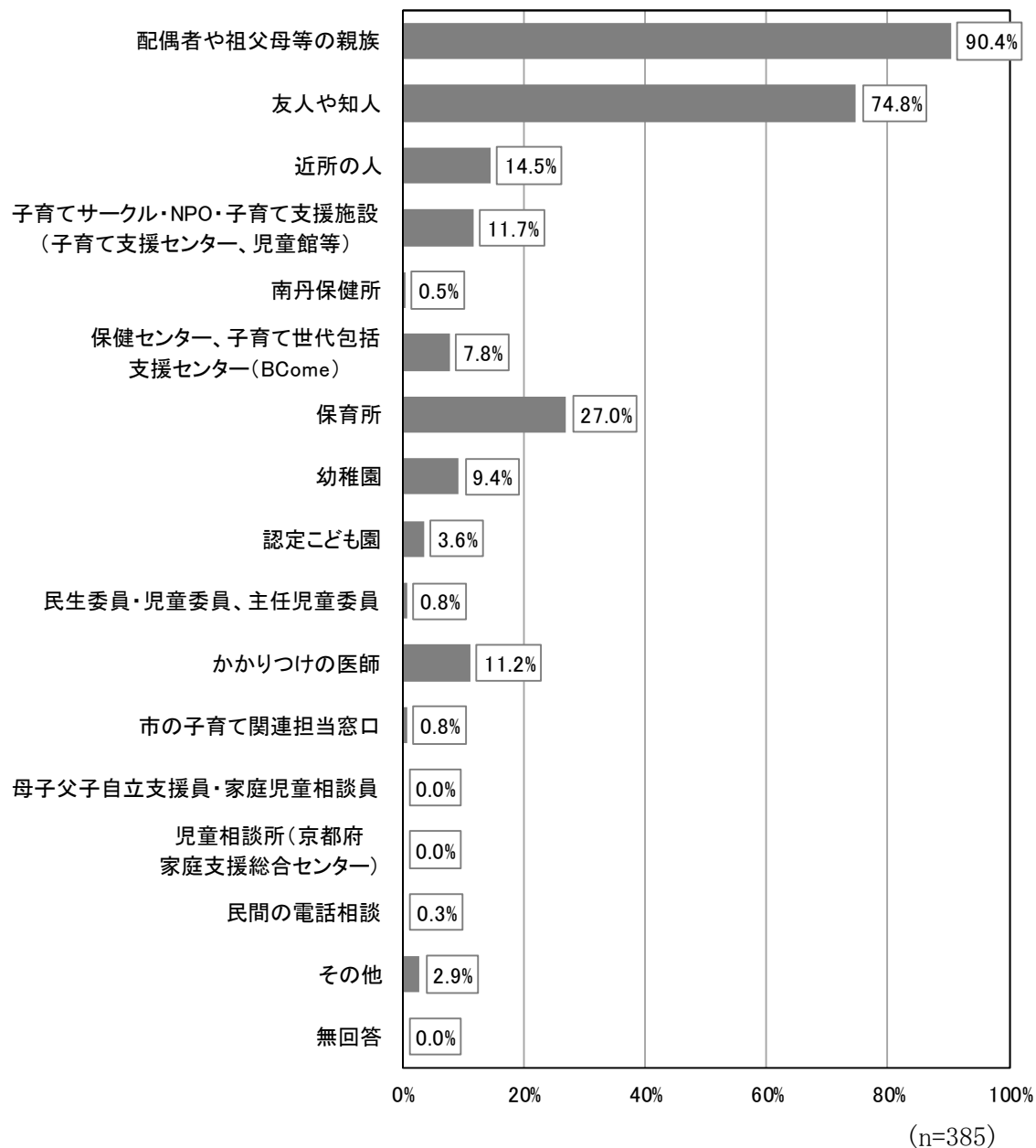


子育てに関して気軽に相談できる先（MA）

【就学前（問 10-1）】

問 10 で子育ての相談先が「ある」を選択した方限定

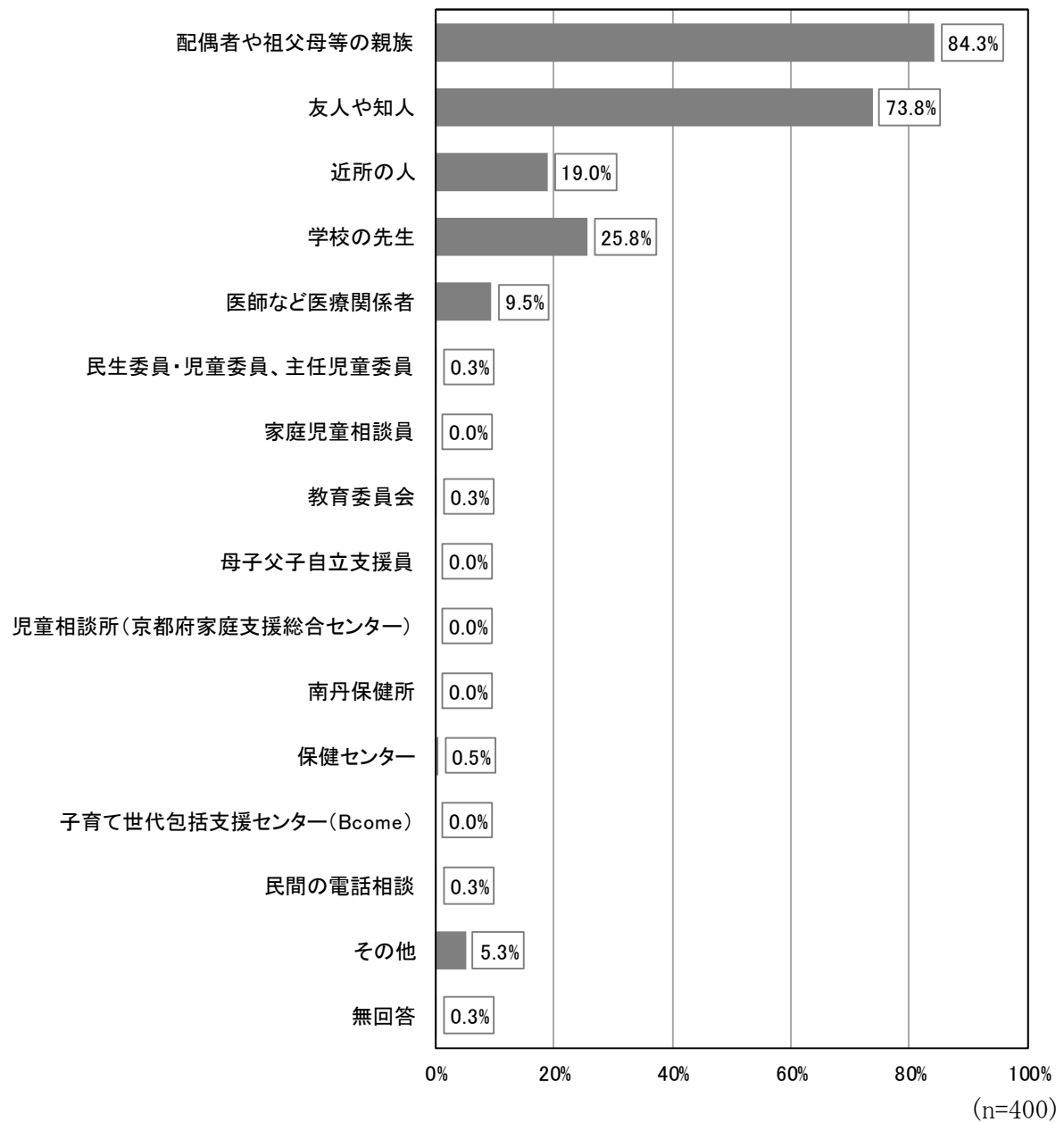
- ・「配偶者や祖父母等の親族」が90.4%で最も割合が高く、次いで「友人や知人」が74.8%となっています。



【小学生（問 14-1）】

問 14 で子育ての相談先が「ある」を選択した方限定

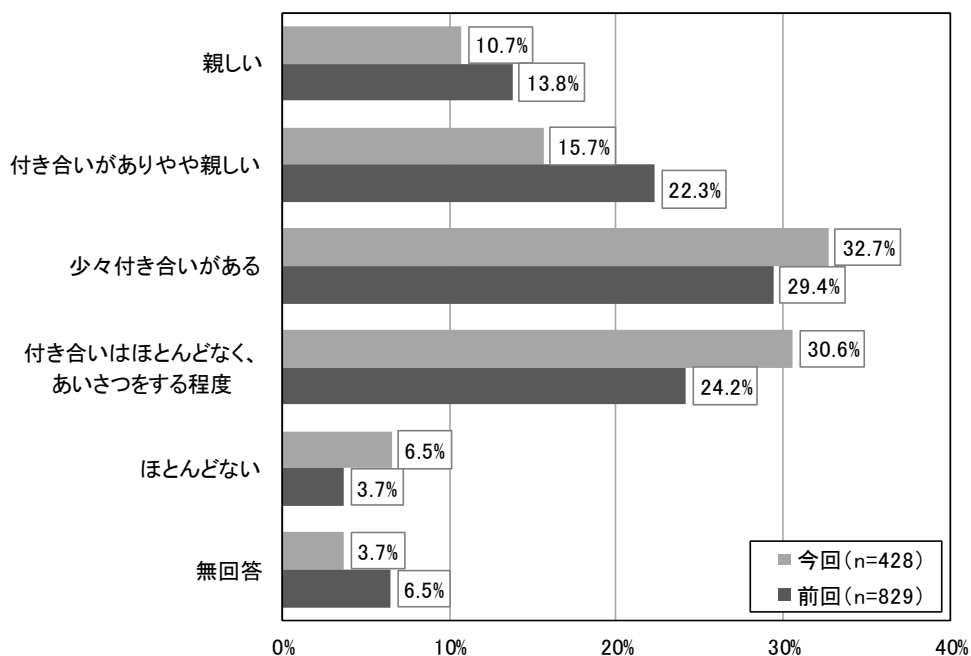
- ・「配偶者や祖父母等の親族」が 84.3%で最も割合が高く、次いで「友人や知人」が 73.8%となっています。



近所付き合いの程度（SA）

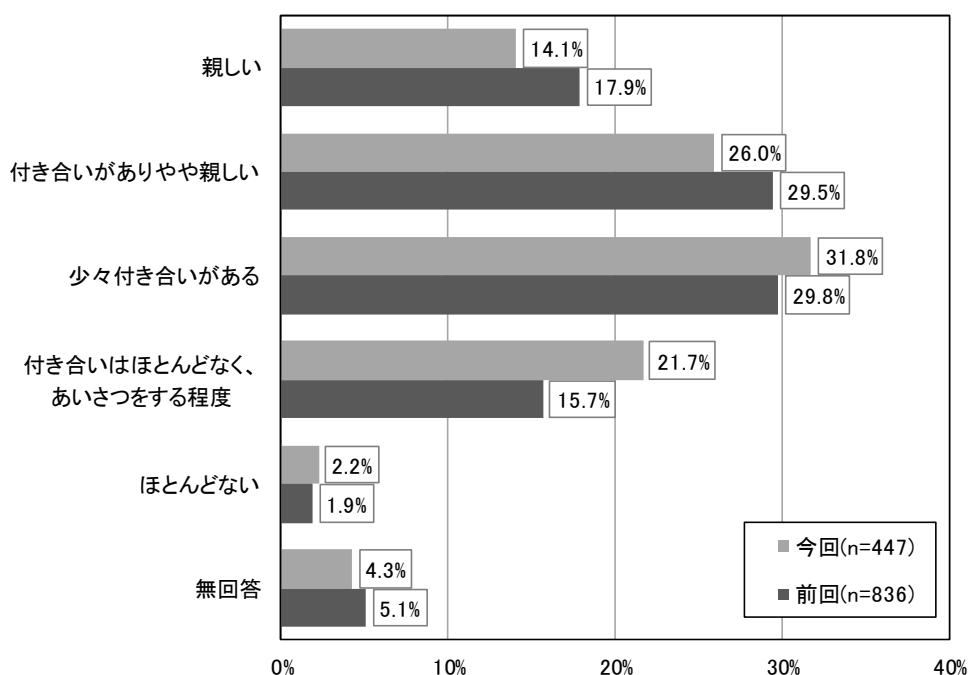
【就学前（問 11）】

- ・「少々付き合いがある」が32.7%と最も割合が高く、次いで「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」が30.6%となっています。
- ・前回の調査と比較すると、「親しい」「付き合いがありやや親しい」が減少しています。



【小学生（問 15）】

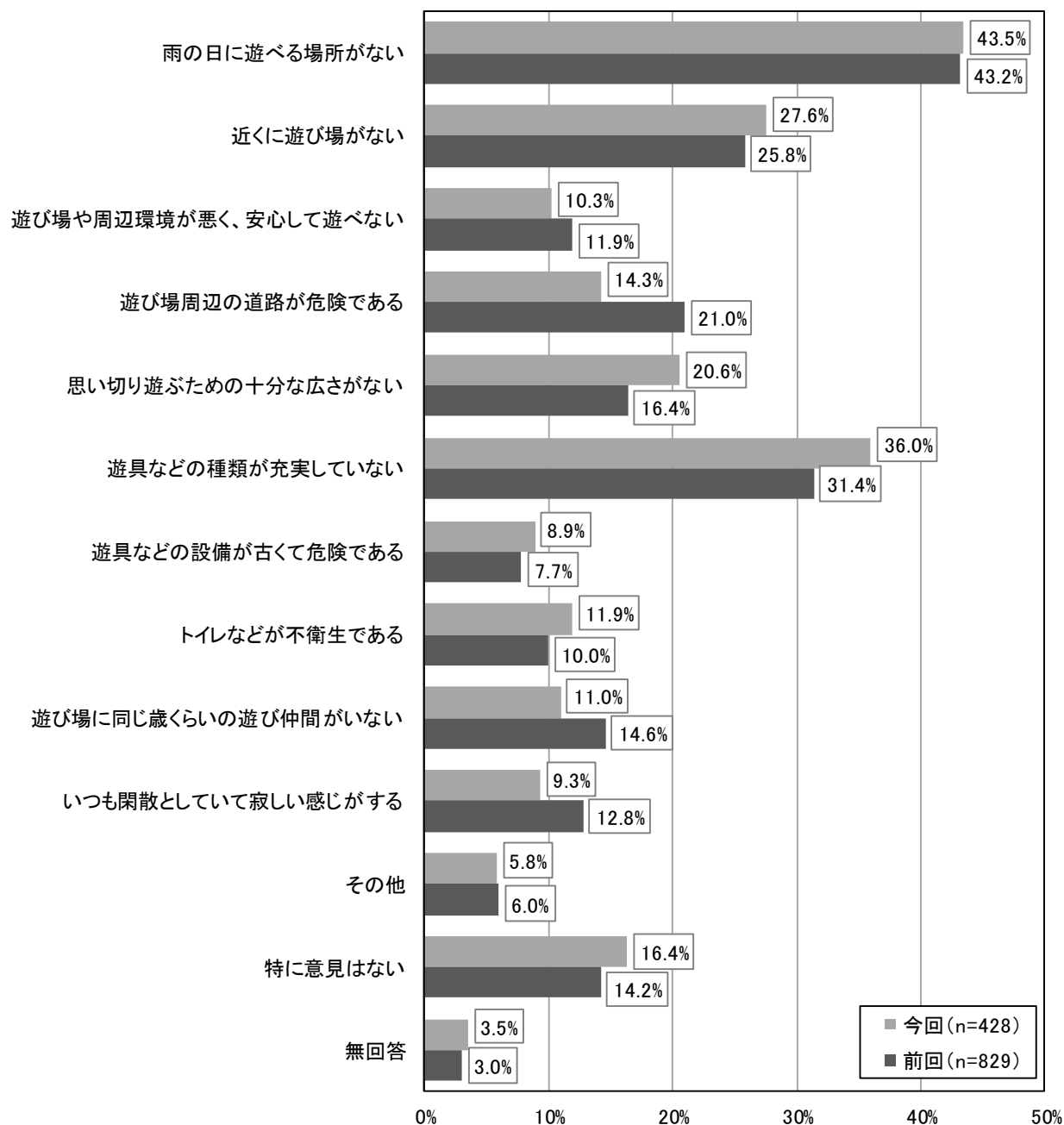
- ・「少々付き合いがある」が31.8%と最も割合が高く、次いで「付き合いがありやや親しい」が26.0%となっています。
- ・前回の調査と比較すると、「親しい」「付き合いがありやや親しい」が減少しています。



遊び場で困ること・困ったこと（MA）

【就学前（問 14）】

- ・「雨の日に遊べる場所がない」が43.5%で最も割合が高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が36.0%となっています。
- ・前回の調査と比較すると、「遊具などの種類が充実していない」が4.6ポイント、「思い切り遊ぶための十分な広さがない」が4.2ポイント増加しています。

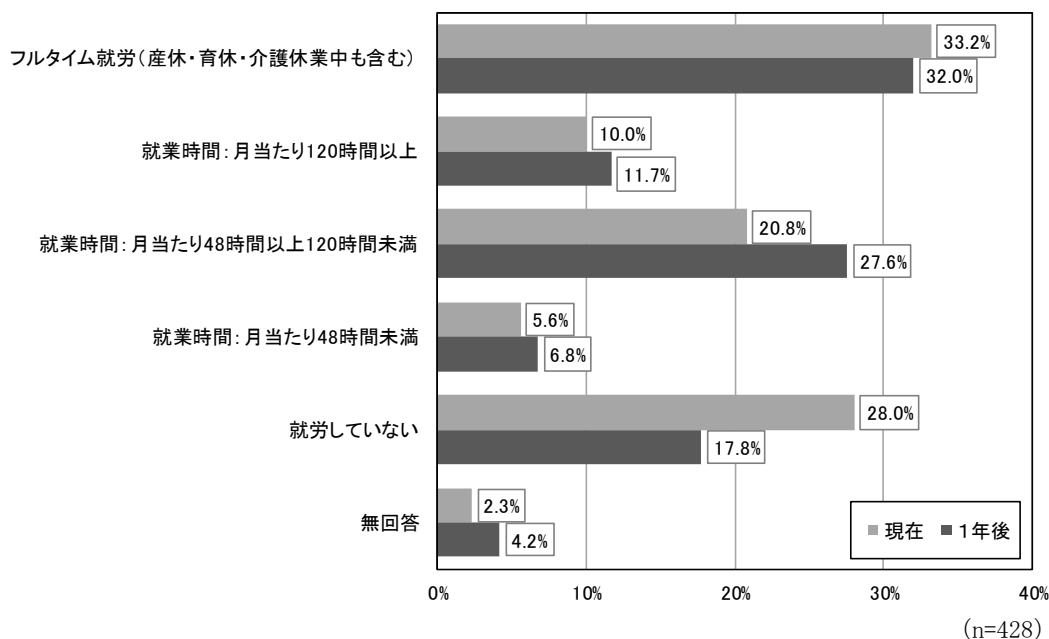


3. 保護者の就労状況について

母親の就労状況（SA）

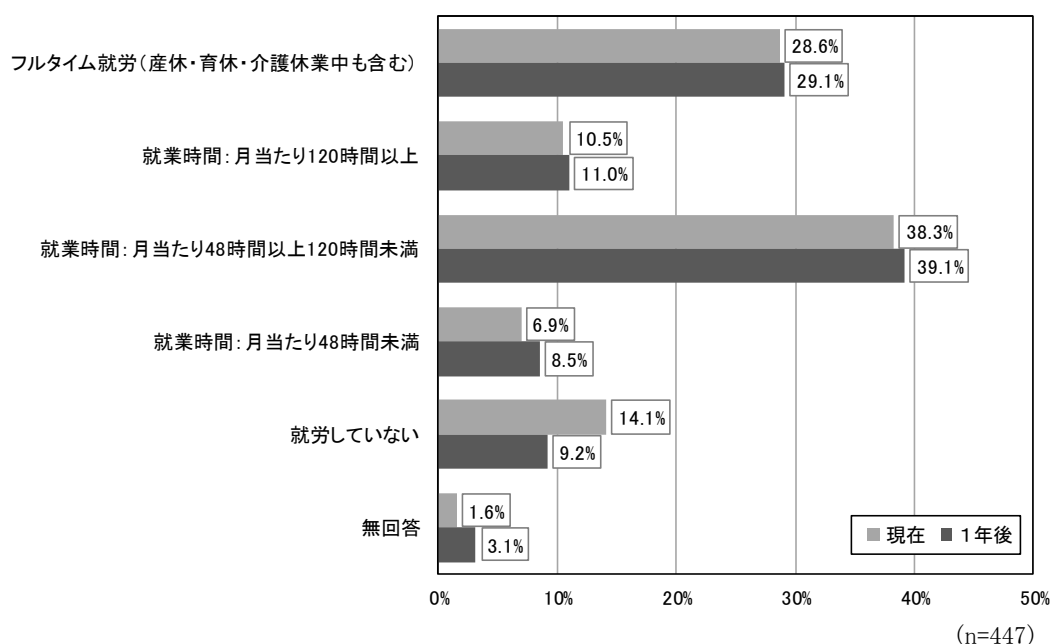
【就学前（問 17（1））】

- ・現在、1年後ともに「フルタイム就労（産休・育休・介護休業中も含む）」が最も割合が高く、次いで、現在では「就労していない」が高くなっています。
- ・現在と1年後の就業率を比較すると、現在は69.6%、1年後は78.1%で8.5ポイント増加しています。



【小学生（問 18（1））】

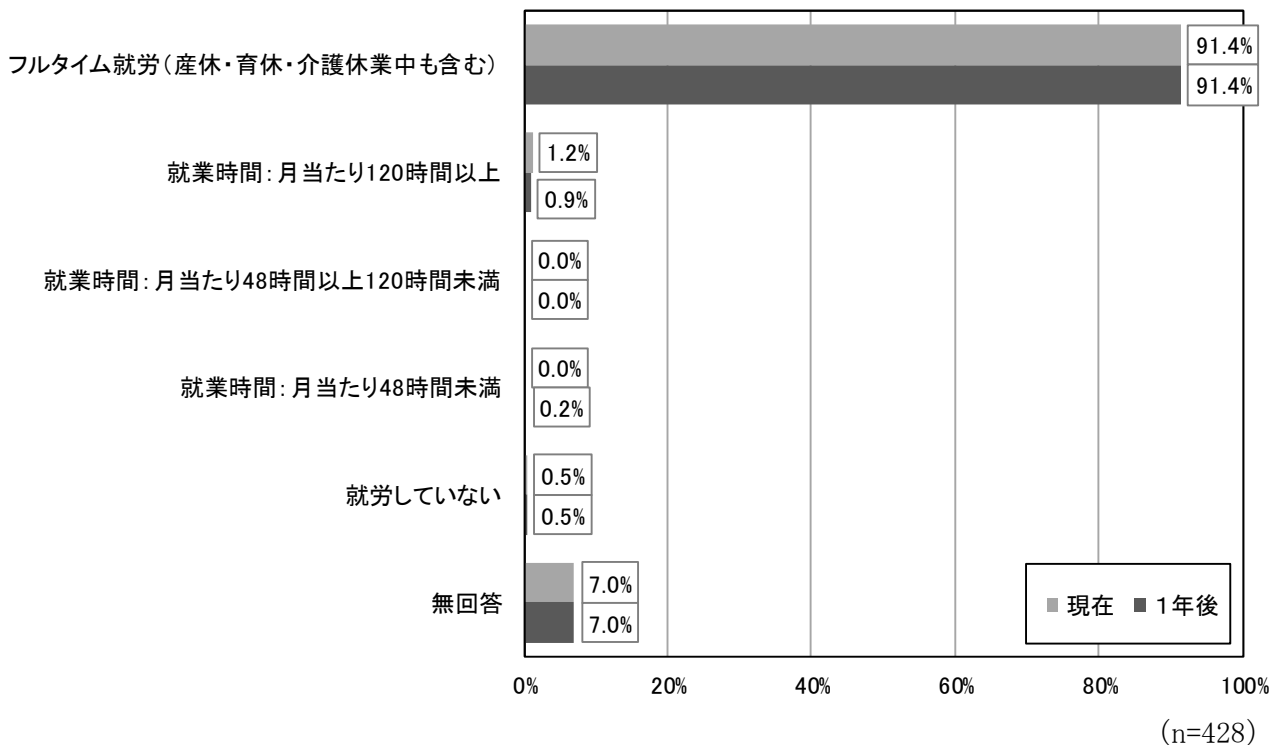
- ・現在、1年後ともに「就業時間：月当たり 48 時間以上 120 時間未満」の割合が最も高く、次いで「フルタイム就労（産休・育休・介護休業中も含む）」となっています。
- ・現在と1年後の就業率を比較すると、現在は84.3%、1年後は87.7%で3.4ポイント増加しています。



父親の就労状況（SA）

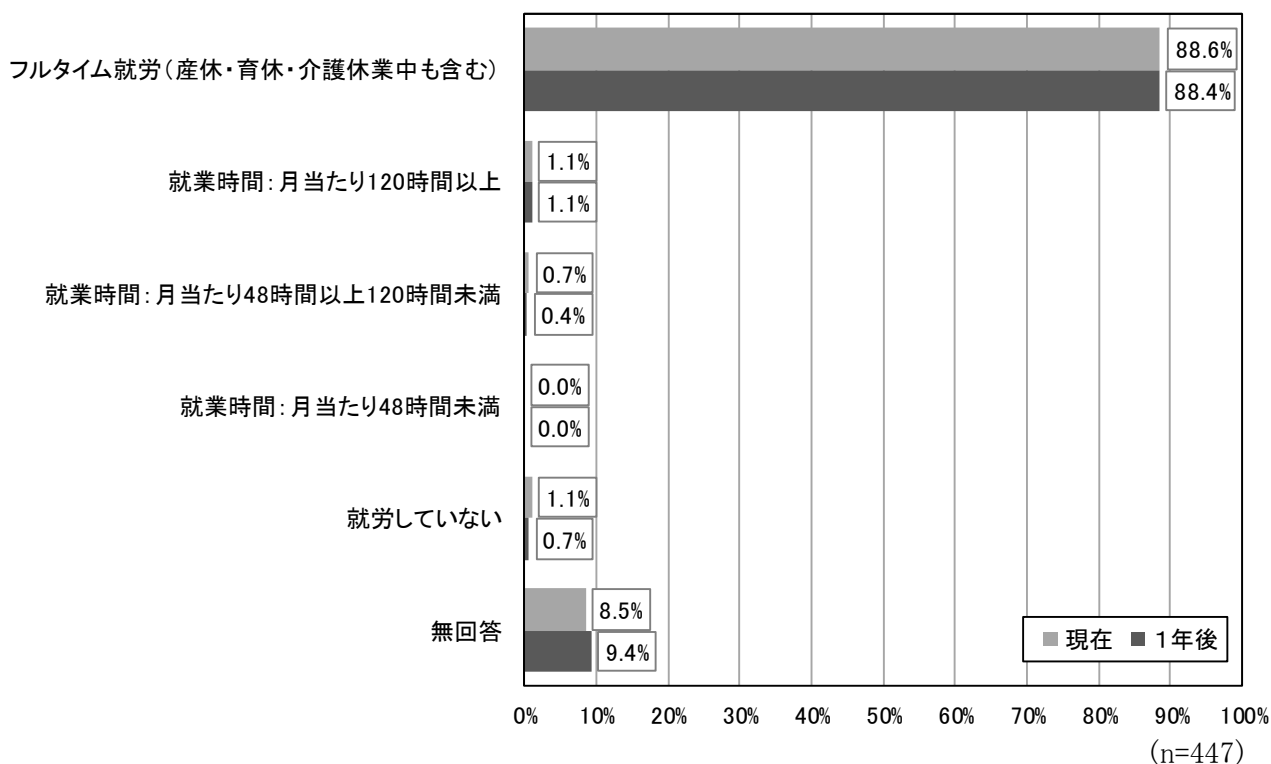
【就学前（問 17（2））】

- ・現在、1 年後ともに「フルタイム就労（産休・育休・介護休業中も含む）」の割合が最も高くなっており、大きな変化はみられません。



【小学生（問 18（2））】

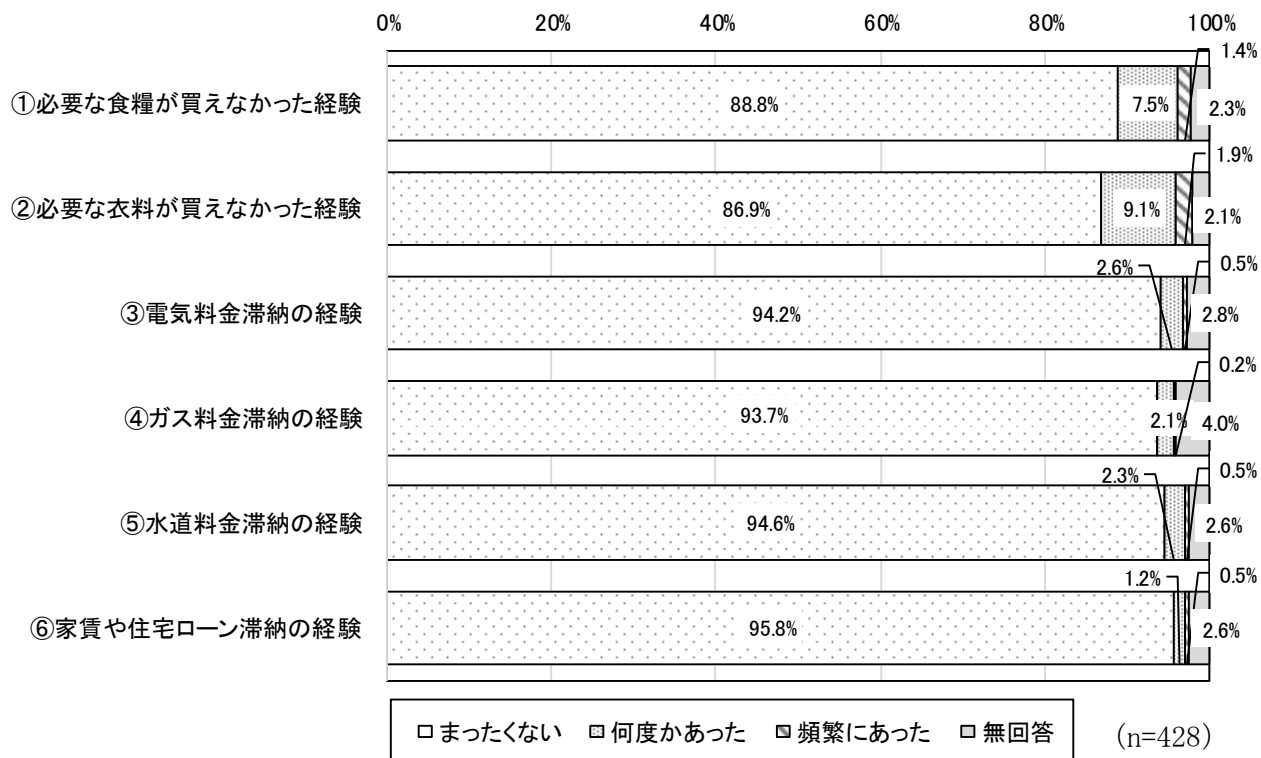
- ・現在、1 年後ともに「フルタイム就労（産休・育休・介護休業中も含む）」の割合が最も高くなっており、大きな変化はみられません。



経済的理由による経験の有無（SA）

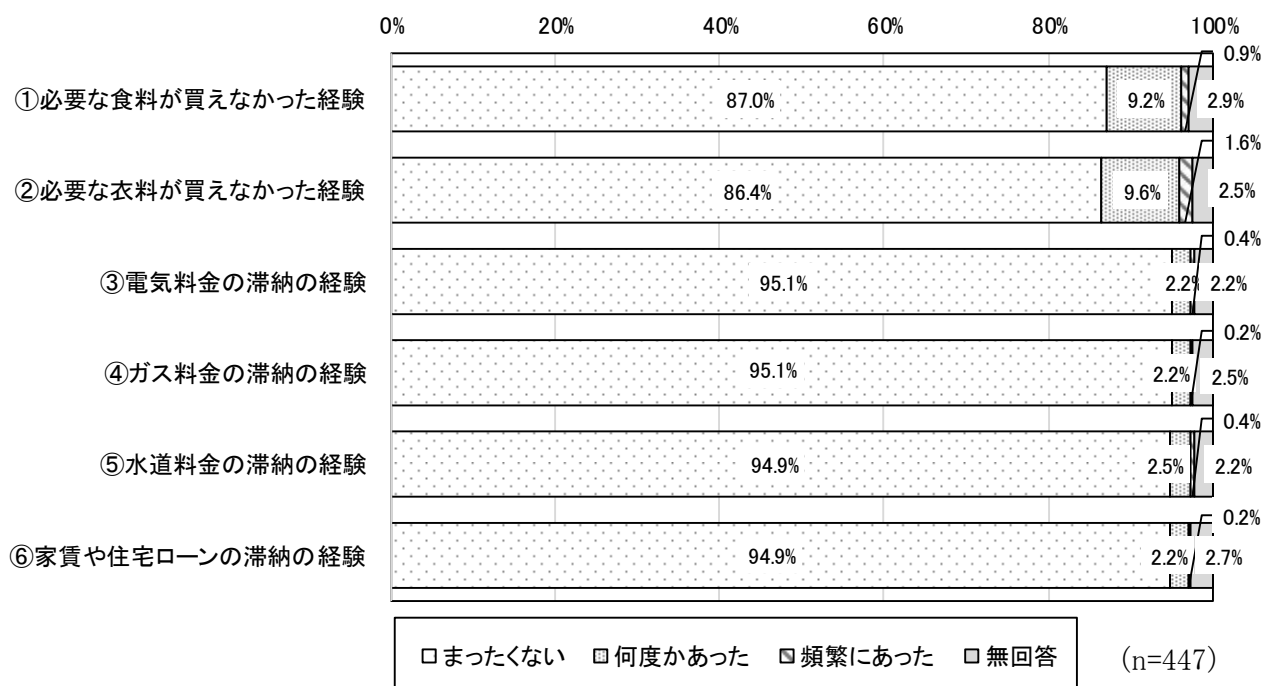
【就学前（問 19）】

・「何度かあった」についてみると、“②必要な衣料が買えなかった経験”が9.1%で最も割合が高く、次いで“①必要な食料が買えなかった経験”が7.5%となっています。



【小学生（問 20）】

・「何度かあった」についてみると、“②必要な衣料が買えなかった経験”が9.6%で最も割合が高く、次いで“①必要な食料が買えなかった経験”が9.2%となっています。



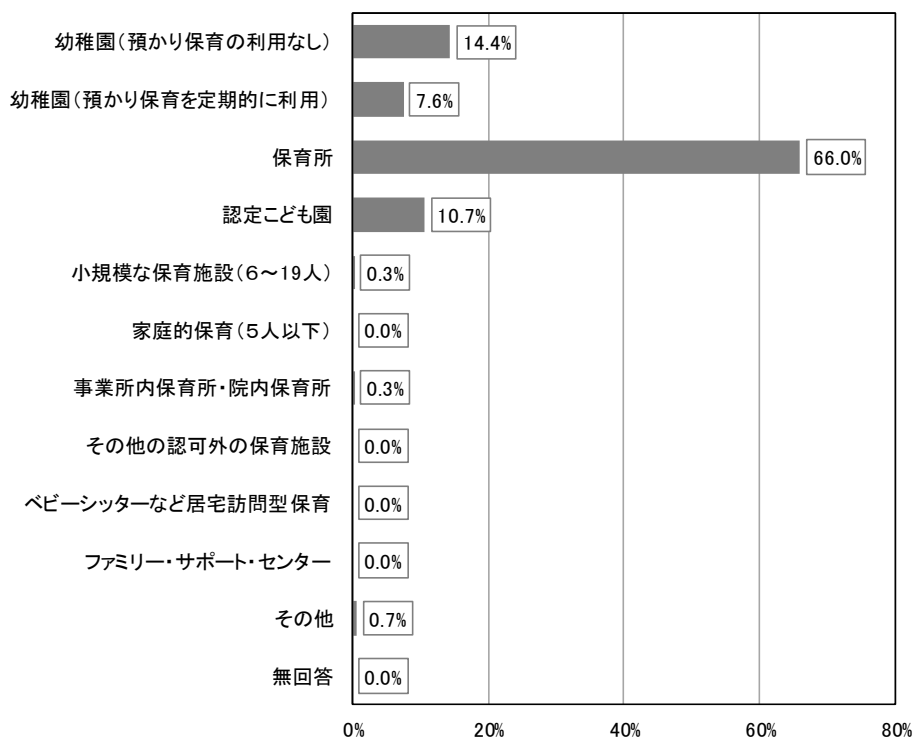
4. 平日の定期的な教育・保育の利用状況について

お子さんが定期的に利用している事業（SA）/利用していない理由（SA）

【就学前（問 20-1（1））】

問 20 で平日の定期的な教育・保育を「利用している」を選択した方限定

・「保育所」が 66.0%で最も割合が高くなっています。

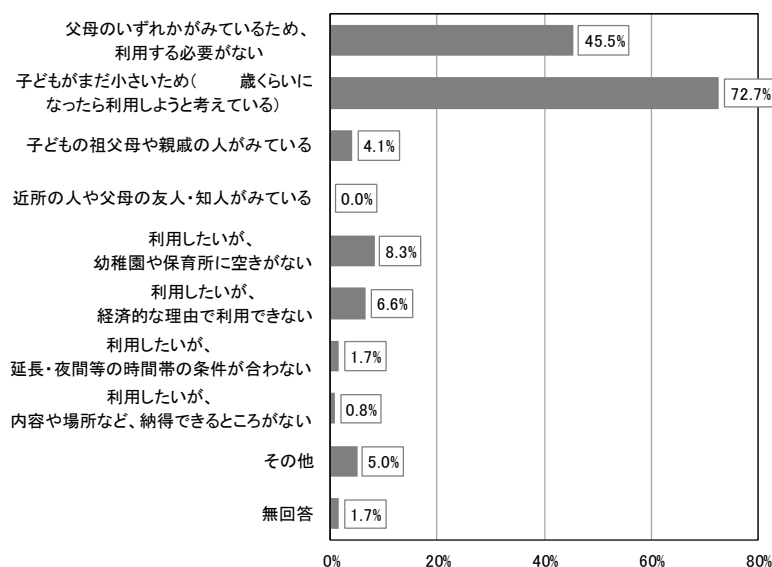


(n=291)

【就学前（問 20-2）】

問 20 で平日の定期的な教育・保育を「利用していない」を選択した方限定

・「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 72.7%で最も割合が高く、次いで「父母のいずれかがみているため、利用する必要がない」が 45.5%、となっています。

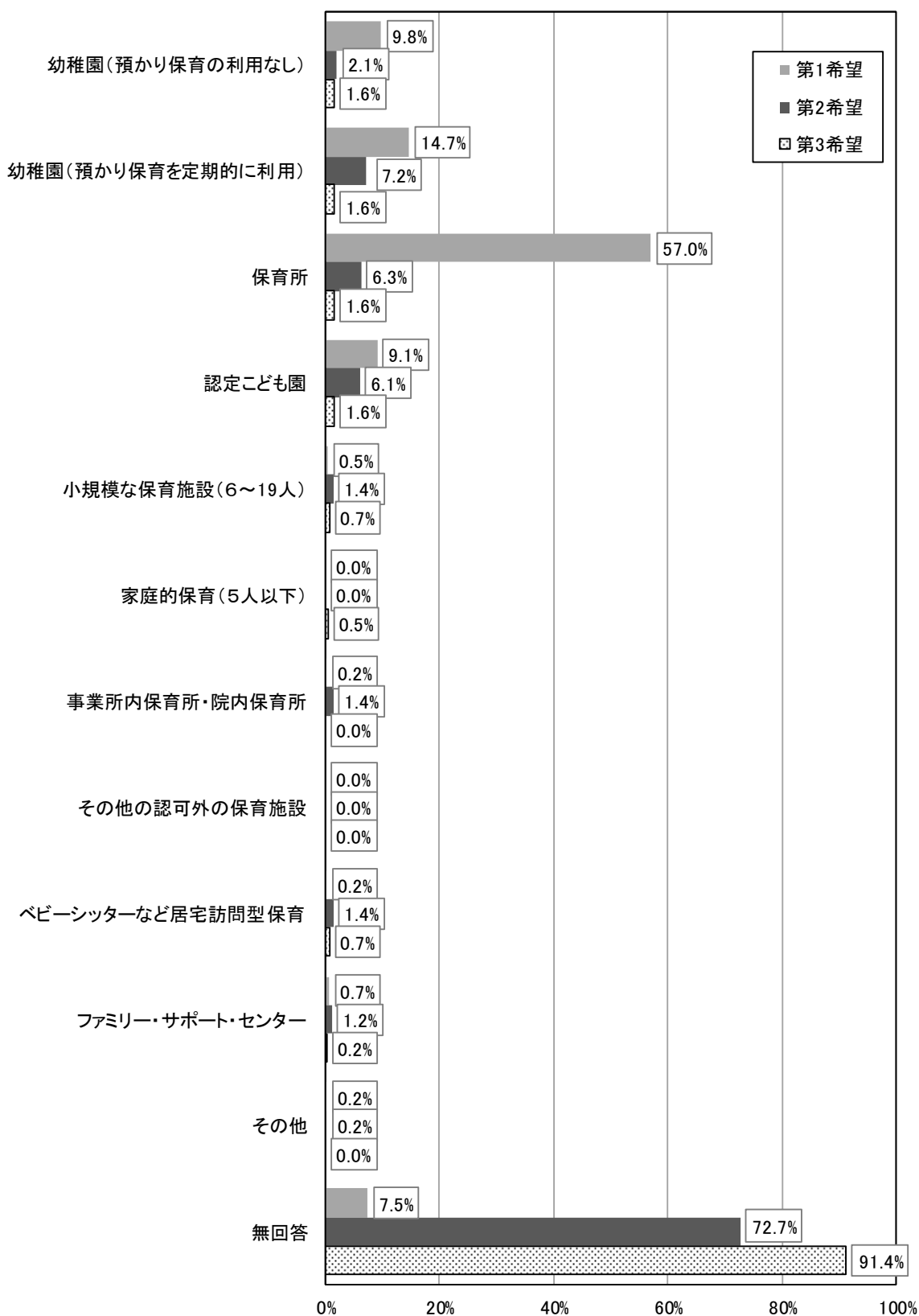


(n=121)

定期的に利用したい事業（SA）

【就学前（問21）】

- ・第1希望は、「保育所」が57.0%で最も割合が高く、次いで「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」が14.7%となっています。
- ・第2希望は「幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」の割合が最も高くなっています。



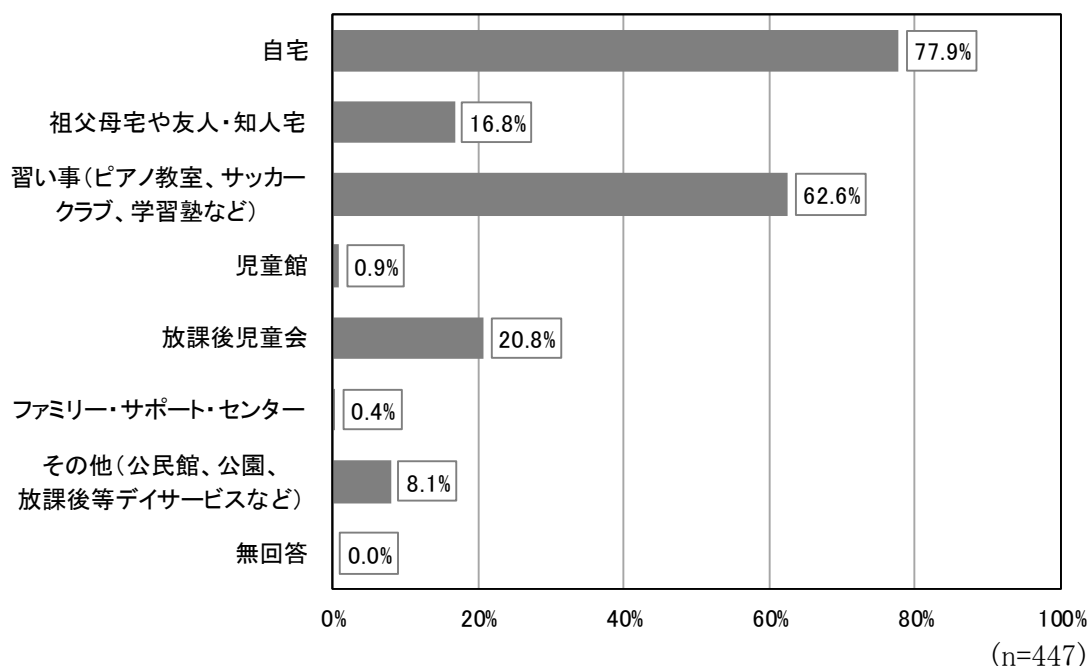
(n=428)

5. 放課後の過ごし方について

放課後の時間を過ごしている場所（MA）

【小学生（問21）】

・「自宅」が77.9%で最も割合が高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が62.6%、「放課後児童会」が20.8%となっています。

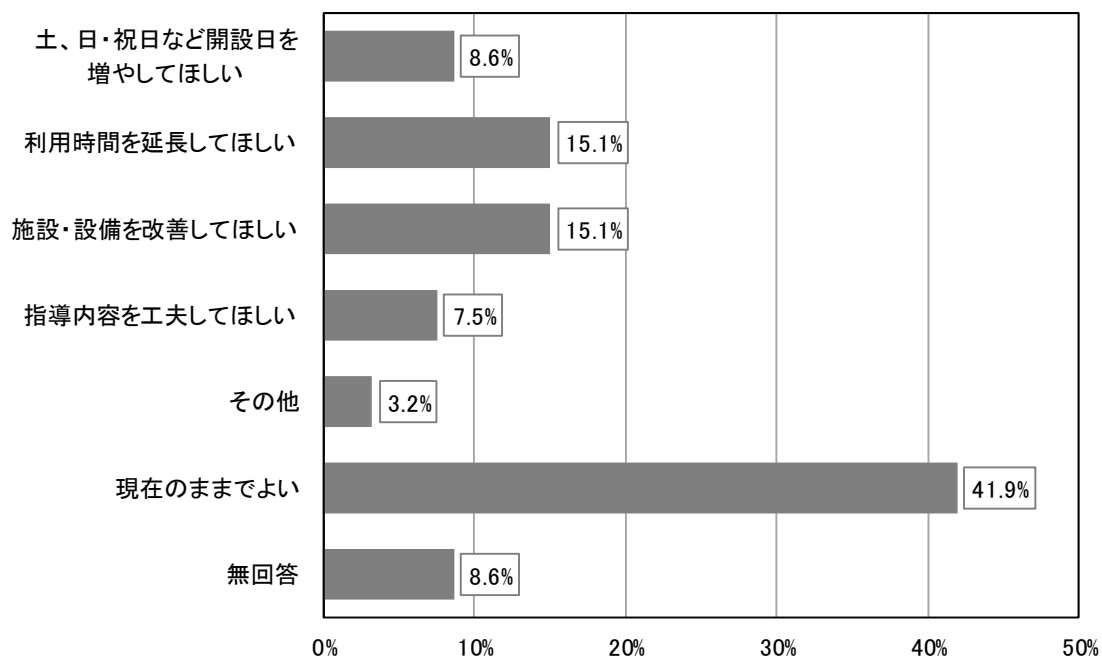


放課後児童会に対しての要望（SA）

【小学生（問23）】

問21で「放課後児童会」を選択した方限定

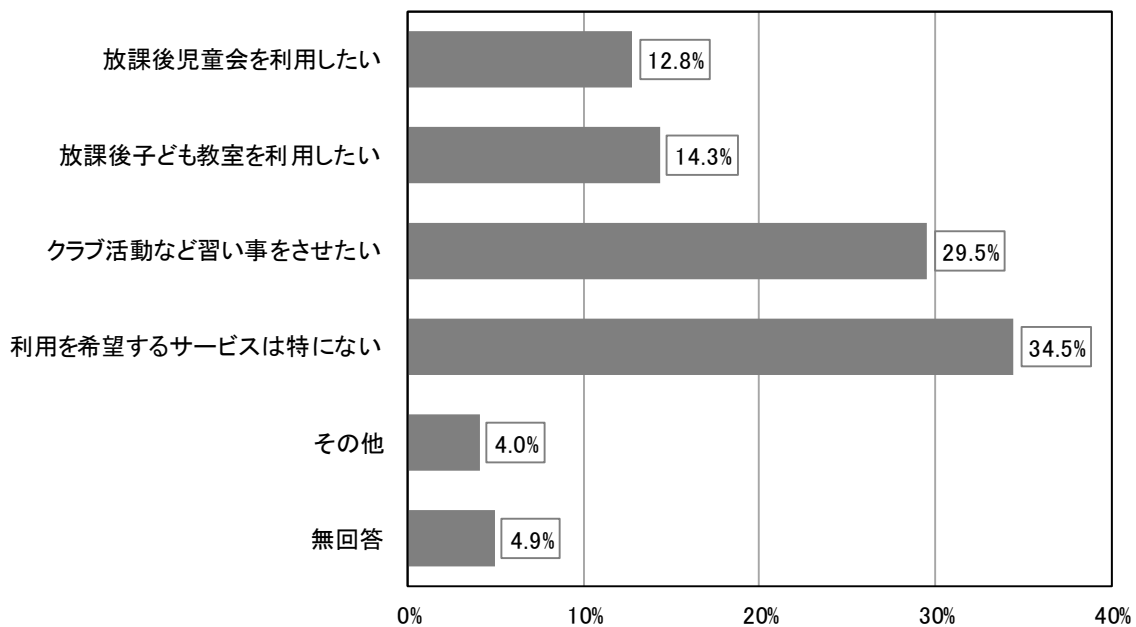
・「現在のままでよい」が41.9%で最も割合が高く、次いで「利用時間を延長してほしい」「施設・設備を改善してほしい」が15.1%となっています。



小学4年以降の放課後の過ごし方（MA）

【小学生（問27）】

- 「利用を希望するサービスは特にない」が34.5%で最も割合が高く、次いで「クラブ活動など習い事をさせたい」が29.5%となっています。
- 「放課後児童会を利用したい」については、12.8%となっています。



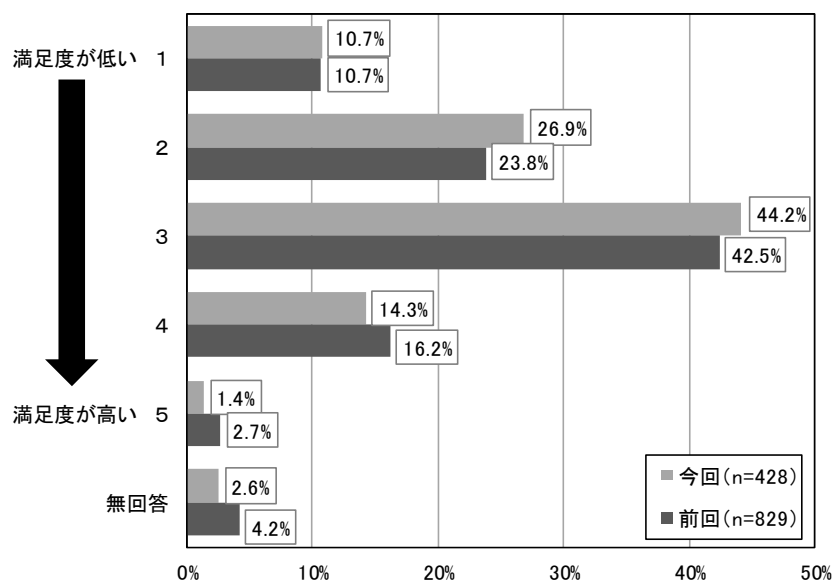
(n=447)

6. 子育て支援対策全般について

亀岡市の子育て環境や支援への満足度（SA）

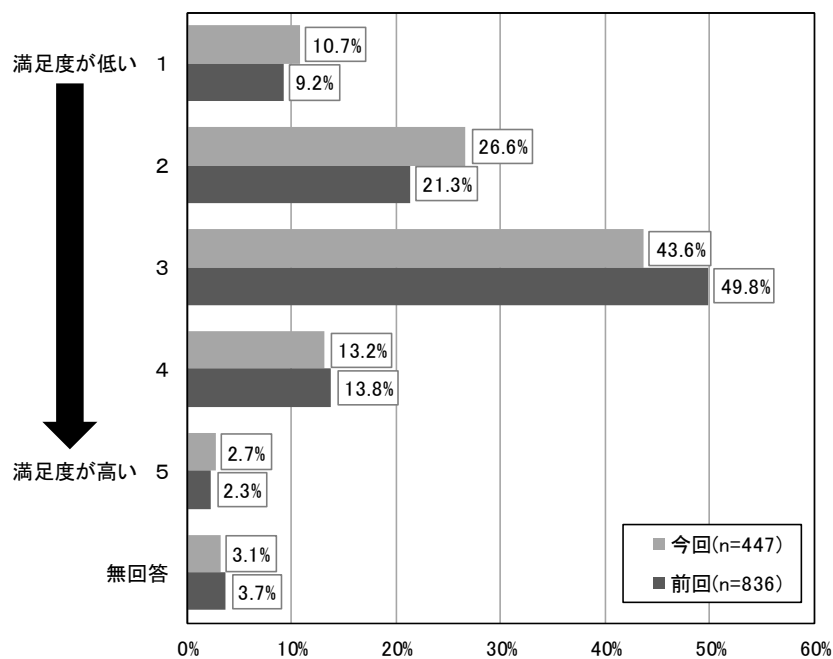
【就学前（問36）】

- ・「3」が44.2%で最も割合が高く、次いで「2」が26.9%となっています。
- ・前回の調査と比較すると、「2」「3」の割合が増加し、「4」「5」の割合が減少しています。



【小学生（問30）】

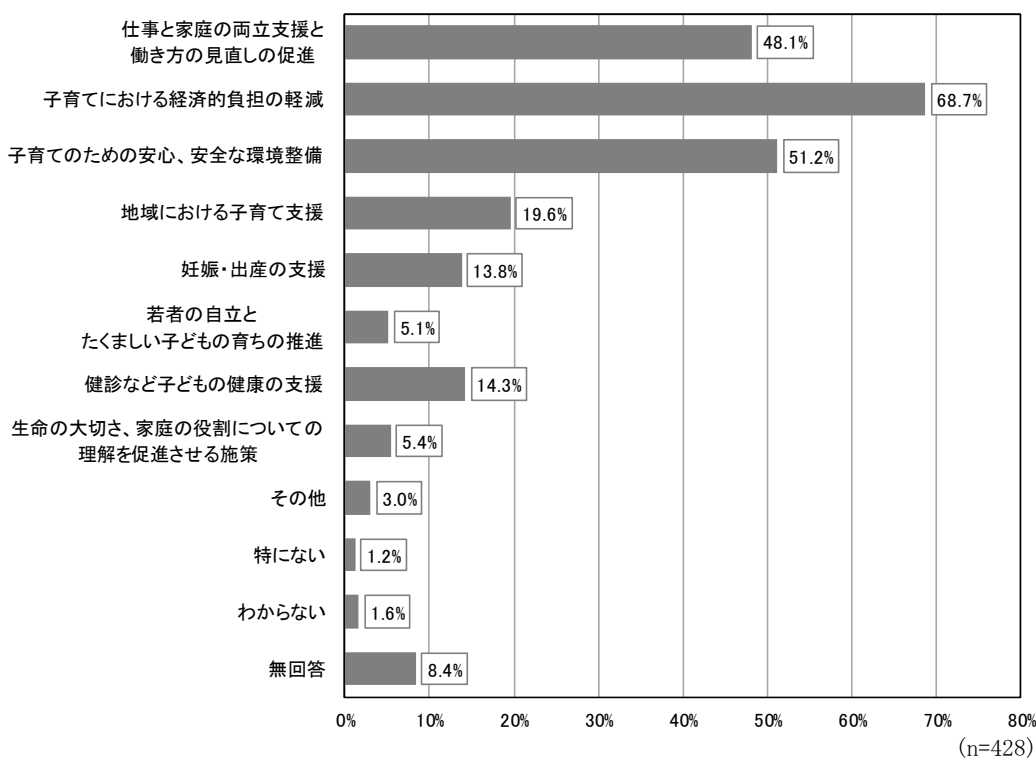
- ・「3」が43.6%で最も割合が高く、次いで「2」が26.6%となっています。
- ・前回の調査と比較すると、満足度が低い「1」「2」の割合が比較的大きく増加し、「3」の割合が比較的大きく減少しています。



望ましい子育て支援施策（MA）

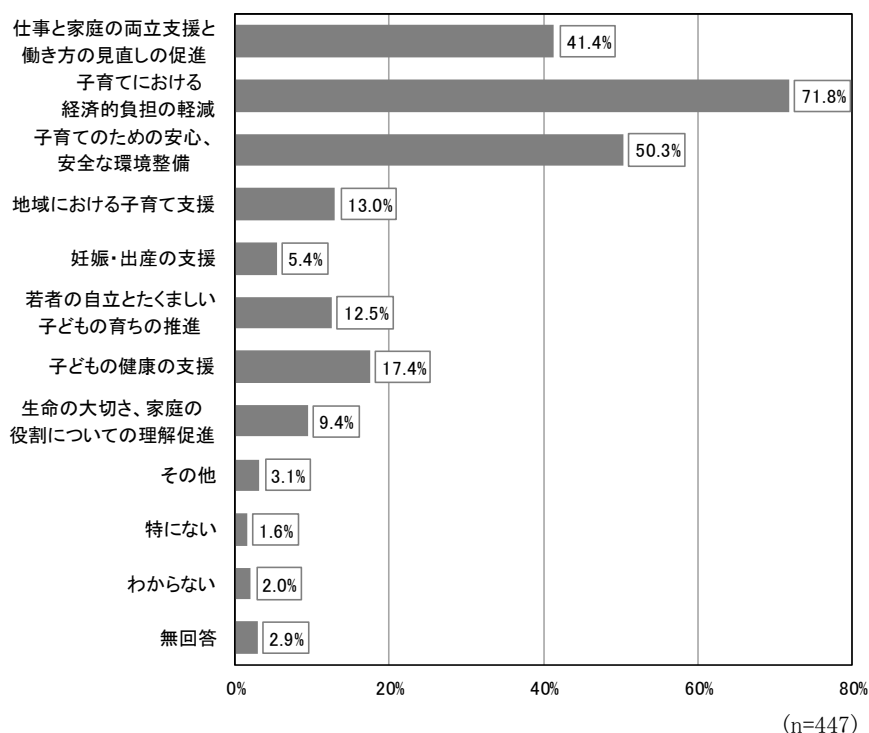
【就学前（問36-1）】

・「子育てにおける経済的負担の軽減」が68.7%で最も割合が高く、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」が51.2%、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」が48.1%となっています。



【小学生（問31）】

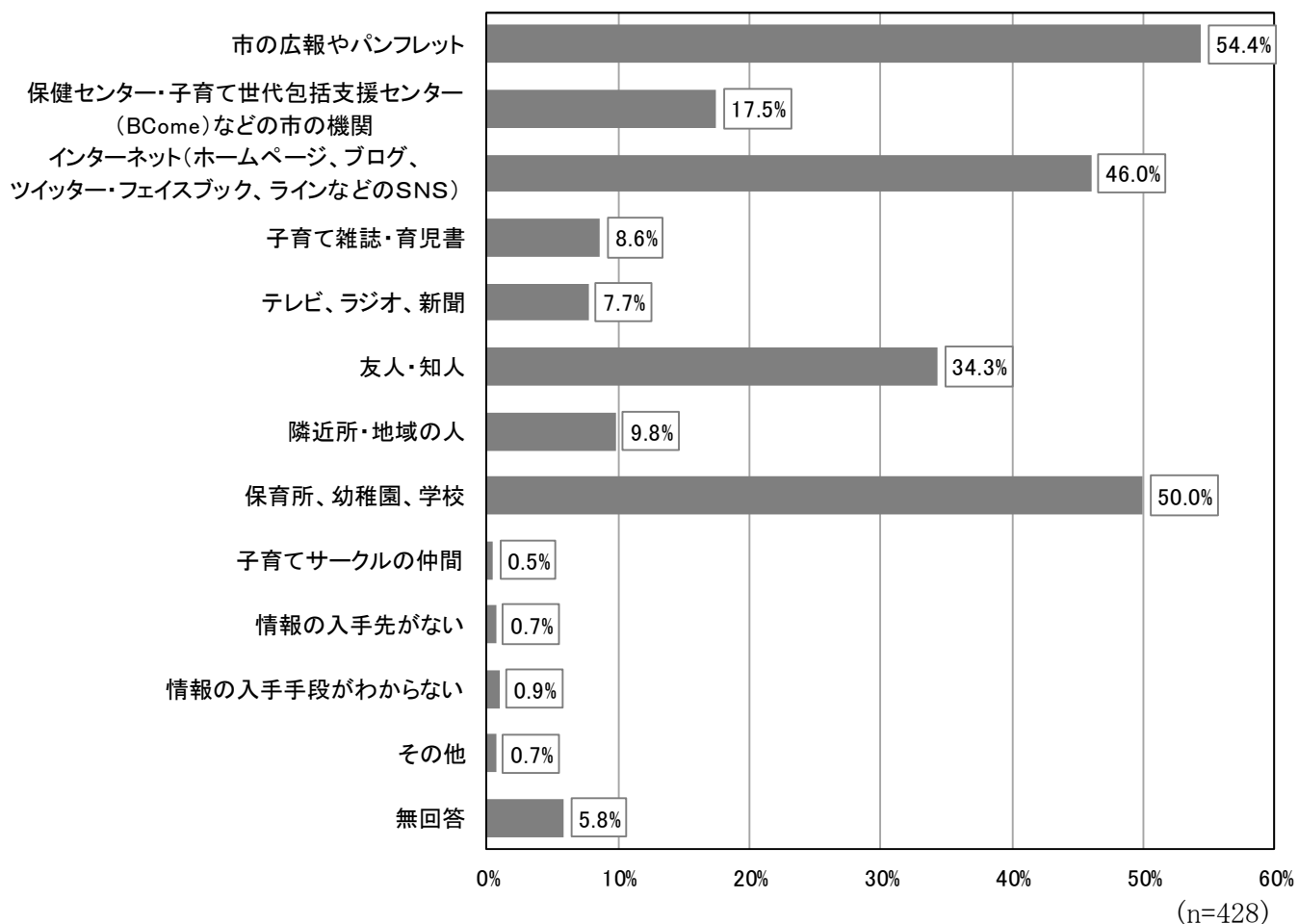
・「子育てにおける経済的負担の軽減」が71.8%で最も割合が高く、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」が50.3%、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」が41.4%となっています。



子育てに必要な情報の入手方法（MA）

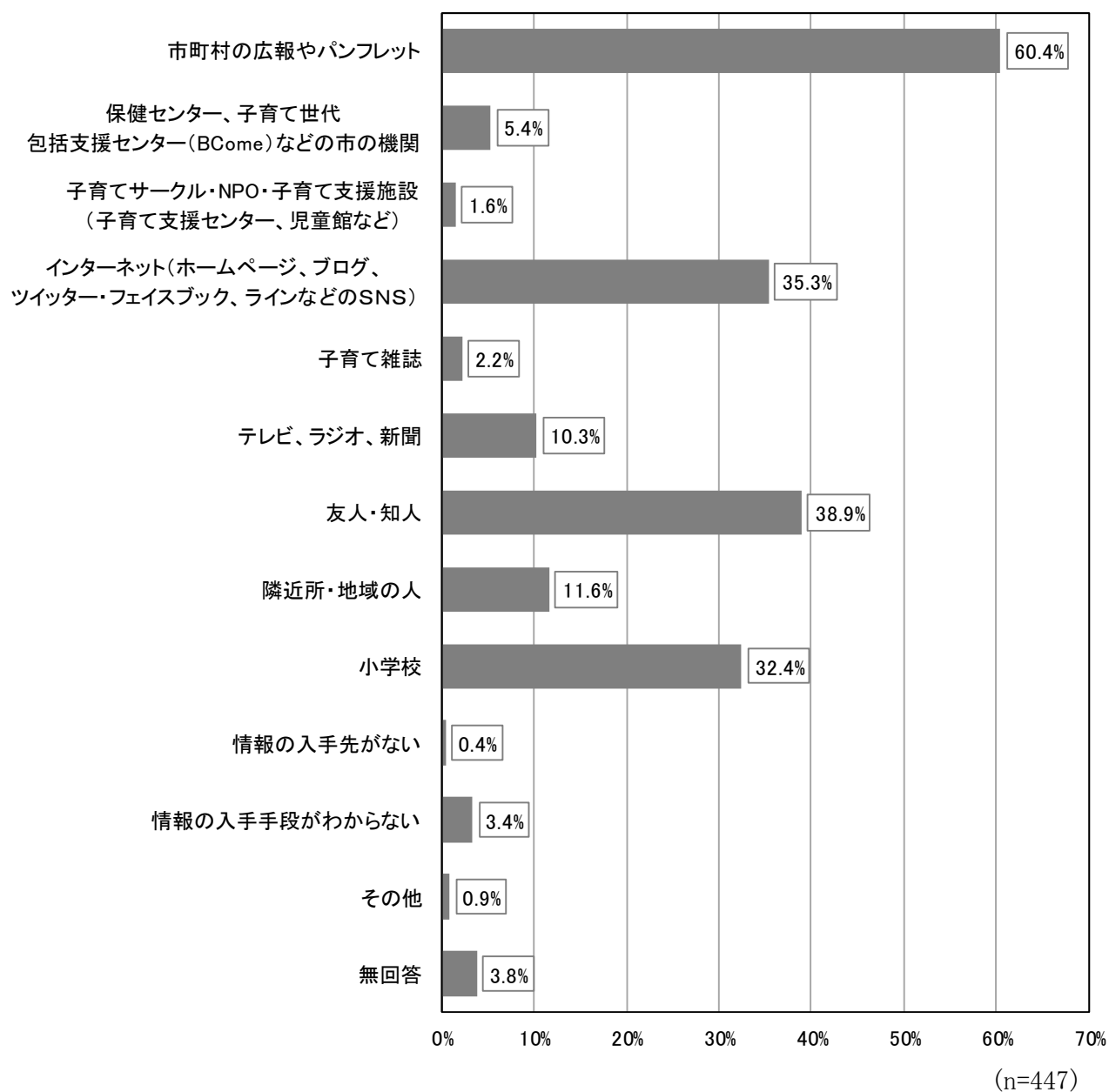
【就学前（問 36-2）】

・「市の広報やパンフレット」が54.4%で最も割合が高く、次いで「保育所、幼稚園、学校」が50.0%、「インターネット（ホームページ、ブログ、ツイッター・フェイスブック、ラインなどのSNS）」が46.0%となっています。



【小学生（問23）】

- ・「市の広報やパンフレット」が60.4%で最も割合が高く、次いで「友人・知人」が38.9%、「インターネット（ホームページ、ブログ、ツイッター・フェイスブック、ラインなどのSNS）」が35.3%となっています。

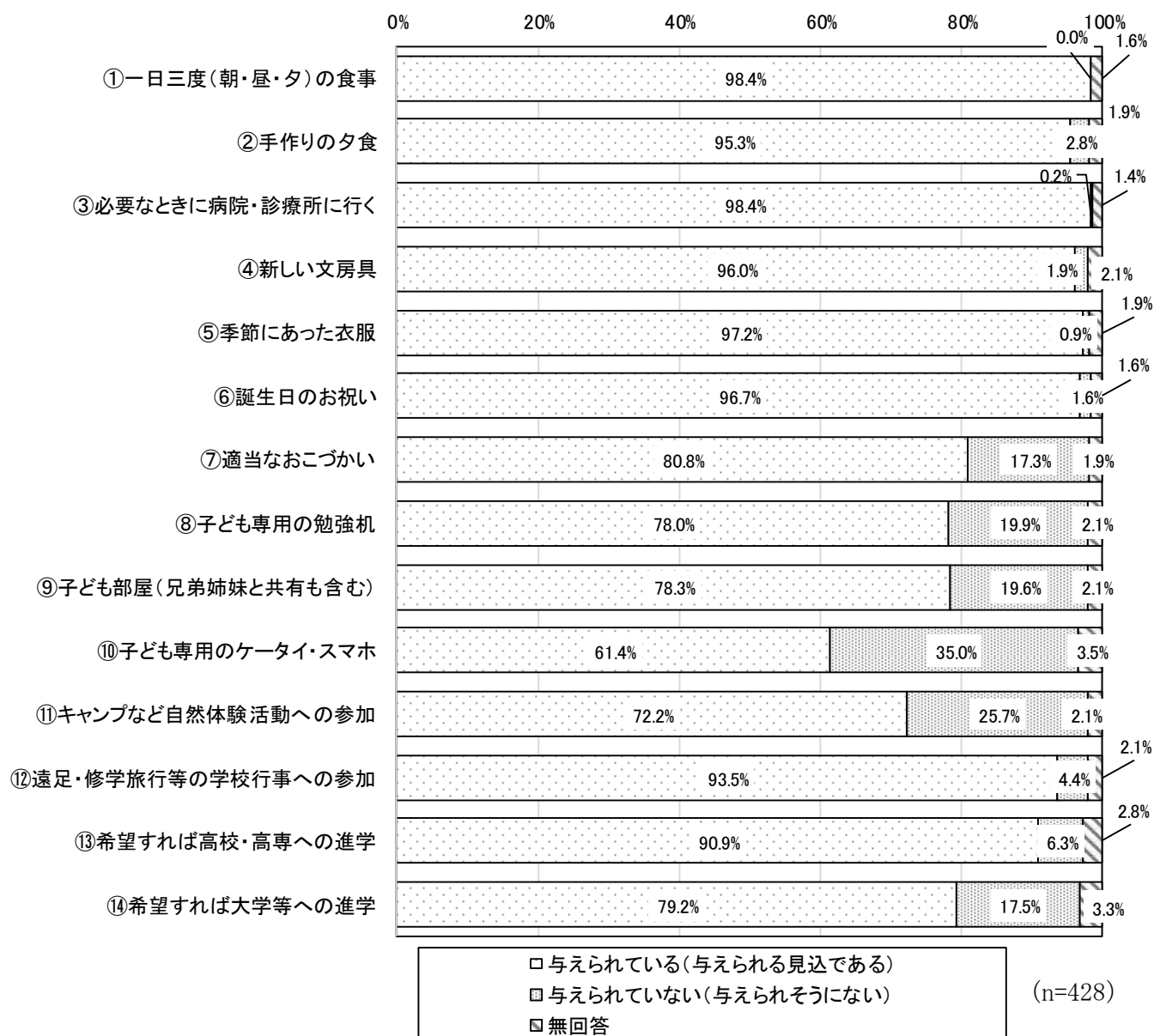


経済的理由により子どもに与えられないもの（MA）

【就学前（問 36-2）】

・「与えられていない（与えられそうにない）」についてみると、“⑩子ども専用のケータイ・スマホ”が35.0%で最も割合が高く、次いで“⑪キャンプなど自然体験活動への参加”が25.7%、“⑧子ども専用の勉強机”が19.9%となっています。

・なお、“⑭希望すれば大学等への進学”については17.5%となっています。



【小学生（問 33-1）】

- ・「与えられていない（与えられそうにない）」についてみると、“⑩子ども専用のケータイ・スマホ”が47.4%で最も割合が高く、次いで“⑪キャンプなど自然体験活動への参加”が39.8%、“⑨子ども部屋（兄弟姉妹と共有も含む）”が19.0%となっています。
- ・なお、“⑭希望すれば大学等への進学”については18.3%となっています。

